

『息子の贈り物』

お母さんと弟、義理の姉と姪と一緒に暮らしていた少年がいました。少年は外国で働くチャンスがあり、とても喜んでいました。月日が過ぎ、ほぼ一年が過ぎたクリスマスの頃、少年は家族みんなにプレゼントを贈りました。みんなは喜んでいましたが、お母さんだけは違っていました。5年過ぎたクリスマスのプレゼントも、お母さんは微笑みませんでした。そして、6回目のクリスマスに、いつもより大きな箱が届きました。それを開けて、お母さんは大喜び。一枚の紙に、こう書かれていました。

” Dearest Mother, …………… ”